

第27回（2014年度）

名古屋大学年代測定総合研究センター

シンポジウムプログラム

日時：2015年1月27日（火） 9：55～17：20（受付開始9：30）

1月28日（水）10：00～16：00（受付開始9：30）

場所：名古屋大学野依記念学術交流館

【1月27日（火）】

9：55～10：00 開会の挨拶

〔センター施設報告〕

（座長：榎並正樹）

10：00～10：15 名古屋大学タンデトロン AMS¹⁴C システムの現状と利用 (2014)

中村俊夫・タンデトロン年代グループ（名大・年測センター）

10：15～10：30 CHIME の現状と利用 (2014 年度)

加藤丈典・榎並正樹・佐藤桂（名大・年測センター）

〔平成26年度 新研究創成経費研究報告〕

（座長：榎並正樹）

10：30～10：45 山陰東部における白亜紀最末期の火成活動：花崗岩類の Sr, Nd 同位体比からの検討

佐藤桂（名大・年測センター）

10：45～11：00 中世最寒冷期の北日本 ¹⁴C 年代偏差の解明

箱崎真隆（名大・年測センター）

〔一般講演 セッション1〕

（座長：中村俊夫）

11：00～11：20 家畜ヤギの西アジア起源説に対する古代 DNA 系統解析の新知見

門脇誠二（名大・博物館）・大西敬子（名大・院・環境学研究科）

11：20～11：40 団粒構造破壊による土壌有機物分解促進の炭素同位体比解析

森泉純・酒井義人・早川修平・平尾茂一・山澤弘実（名大・院・工学研究科）

11：40～12：00 直筆短冊の年代測定による古筆掛軸の筆者特定

長野修二郎（知多歴史民俗研究会）

12 : 00～13 : 00 昼食

〔一般講演 セッション2〕

(座長：佐藤桂)

- 13 : 00～13 : 20 海水準増加期に対応したバイカル湖堆積物 (VER99G12) の急激な堆積速度変化
奈良郁子 (東北大・院・理学研究科)・渡邊隆広 (日本原子力研究開発機構)・掛川武 (東北大・院・理学研究科)・中村俊夫 (名大・年測センター)・河合崇欣 (元名古屋大学教授)
- 13 : 20～13 : 35 化石骨・炭化物 ^{14}C 測定のための化学前処理法の現状
南雅代 (名大・年測センター)
- 13 : 35～13 : 50 ^{14}C 年代測定における炭化物の化学処理 ―化学構造ならびに元素組成の変化―
富山慎二 (名大・院・環境学研究科)・南雅代・中村俊夫 (名大・年測センター)

13 : 50～14 : 00 休憩

〔特別講演 1〕

14 : 00～15 : 00

演題：古代の鉄の生産・流通

講師：丸山竜平先生 (元名古屋女子大学教授)

(座長：中村俊夫)

15 : 00～15 : 20 休憩

〔一般講演 セッション3〕

(座長：箱崎真隆)

- 15 : 20～15 : 40 北海道厚真川流域のボーリングによる 60 m 長コア (AZK-101 孔) とトーマス型サンプラーによる 13 m 長泥炭コア (ATP-1～3) の地質解析の概要及び珪藻分析結果 ―厚真川流域の沖積層研究 2014 年度その 1―
岡孝雄 (アースサイエンス (株))・安井賢 ((有) 甲賀地盤調査)・近藤務 ((株) 北海道技術コンサルタント)・星野フサ (北大・総合博物館 (ボランティア))・中村俊夫 (名大・年測センター)・関根達夫 (石狩沖積低地研究会)・米道博 (北海道道路エンジニアリング (株))・山崎芳樹 ((株) 北開測地)・乾哲也・奈良智法 (厚真町教育委員会)・宿田浩司 (和光技研

(株))・若松幹男(山の手博物館)・日下哉(北海道土質コンサルタント(株))

15:40~16:00 北海道厚真川流域のボーリングによる60m長コア(AZK-101孔)および13m長泥炭コア(ATP-1~3)の花粉分析結果とその意義ー厚真川流域の沖積層研究2014年度その2ー

星野フサ(北大・総合博物館(ボランティア))・岡孝雄(アースサイエンス(株))・近藤務((株)北海道技術コンサルタント)・中村俊夫(名大・年測センター)・関根達夫(石狩沖積低地研究会)・米道博(北海道道路エンジニアリング(株))・山崎芳樹((株)北開測地)・乾哲也・奈良智法(厚真町教育委員会)

16:00~16:20 北海道厚真川流域の上部更新統~完新統のAMS¹⁴C年代測定・火山灰同定および編年についてー厚真川流域の沖積層研究2014年度その3ー

近藤務((株)北海道技術コンサルタント)岡孝雄(アースサイエンス(株))・中村俊夫(名大・年測センター)・井島行夫(石狩沖積低地研究会)・前田寿嗣(札幌市立藤野中学校)・古澤明((株)古澤地質)・金川和人(北海道厚真高等学校)・星野フサ(北大・総合博物館(ボランティア))・関根達夫(石狩沖積低地研究会)・米道博(北海道道路エンジニアリング(株))・山崎芳樹((株)北開測地)・乾哲也・奈良智法(厚真町教育委員会)

16:20~16:30 休憩

〔一般講演 セッション4〕

(座長:加藤丈典)

16:30~16:50 西郷遺跡・野地遺跡出土木柱の¹⁴C年代測定

西本寛(愛知大・法学部)・荒川隆史((公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団)・木村勝彦(福島大・共生システム理工学類)・中村俊夫(名大・年測センター)

16:50~17:05 ヒト歯牙中¹⁴Cを用いた人体年齢の精密推定

國田圭佑(名大・院・環境学研究科)・中村俊夫(名大・年測センター)

17:05~17:20 骨の炭酸ヒドロキシapatiteを用いた¹⁴C年代測定の試み

椋本ひかり(名大・理学部)・南雅代・中村俊夫(名大・年測センター)

18:00~ 懇親会

【1月28日（水）】

9：30～10：00 受付

〔一般講演 セッション5〕

（座長：南雅代）

- 10：00～10：30 福島第一原発事故に伴う福島県の放射性物質の汚染---2014年の状況---
千葉茂樹（福島県立小野高等学校平田校）・諏訪兼位（名古屋大学名誉教授）・鈴木和博（名大・年測センター）
- 10：30～10：50 三重県多気郡大台町の藪川上流のせき止め湖堆積物の岩相と年代
小嶋智（岐阜大・工学部）・永田秀尚（（有）風水土）・植木岳雪（千葉科学大・危機管理学部）・沼本晋也（三重大・生物資源学研究所）・中村俊夫・池田晃子（名大・年測センター）・大谷具幸（岐阜大・工学部）

10：50～11：00 休憩

〔一般講演 セッション6〕

（座長：南雅代）

- 11：00～11：15 考古遺跡から発掘された木材資料の¹⁴C年代と年輪年代の比較
中村俊夫（名大・年測センター）・木村勝彦（福島大・共生システム理工学類）・箱崎真隆・太田友子（名大・年測センター）
- 11：15～11：30 PETのバックグラウンド・ホール
加藤丈典・鈴木和博（名大・年測センター）
- 11：30～11：45 花崗岩起源河川堆積物の粒径別元素濃度およびSr同位体比
城森由佳・南雅代・鈴木和博（名大・年測センター）

11：45～13：00 昼食

〔特別講演2〕

13：00～14：00

演題：^{ひかみ}氷上花崗岩の形成年代は4.4億年か？3.5億年か？

—多様な年代測定値をどう解釈するか—

講師：鈴木和博先生（名古屋大学名誉教授）

（座長：榎並正樹）

14：00～14：20 休憩

〔一般講演 セッション7〕

(座長：小田寛貴)

14：20～14：40 京随一のパワースポット鞍馬山を調べる …人をおある思い込みに導く
試み…

田中剛 (名大・年測センター)

14：40～15：00 JAEA 土岐地球年代学研究所の JEOL FE-EPMA を用いたジルコンの
CHIME 年代測定

柴田健二・清水麻由子 (日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター)・
鈴木和博 (名大・年測センター)

15：00～15：15 水試料の化学前処理法による ^{14}C 比較プログラム (RICE-W) -途中経過
報告-

南雅代 (名大・年測センター)・高橋浩 (産総研)・荒巻能史 (国立環境
研)・中村俊夫 (名大・年測センター)

〔一般講演 セッション8〕

(座長：城森由佳)

15：15～15：35 城郭石材の産地同定のための全岩化学分析 - 予報

鈴木和博 (名大・年測センター)・田口一男 ((株) C-ファクトリー)

15：35～15：50 平成 26 年度名古屋大学地域貢献事業 名古屋大学年代測定総合研究セン
ター夏休み特別企画「火成岩を観察しよう！」活動報告

佐藤桂・榎並正樹 (名大・年測センター)・仲井豊 (愛知教育大学名誉教
授・元愛知教育大学学長)・三宅明 (愛教大)・加藤丈典・南雅代・小田寛
貴・箱崎真隆・城森由佳 (名大・年測センター)・田口知樹 (名大・院・
環境学研究科)

15：50～16：00 閉会の挨拶・アンケート記入

〔ポスター発表〕

1. SDE に向けての ^{14}C 測定の利用

中村俊夫・太田友子・西田真砂美（名大・年測センター）

2. 鉄サビの放射性炭素年代測定のための基礎実験

中村俊夫（名大・年測センター）・山田哲也（元興寺文化財研究所）・太田友子（名大・年測センター）

3. エルサルバドル共和国ヌエバ・エスペランサ遺跡から出土した粗製土器付着白色物質の化学分析

南雅代（名大・年測センター）・市川彰（国立民俗学博物館）・八木宏明（滋賀県立大・人間文化学部）

講演者の皆様へ

- ・発表時間に質疑応答の時間も含まれています。
- ・発表の際にはパワーポイント（Windows・Mac 双方対応）を使用してください。
- ・会場で発表用の PC を準備しますが、ご自身の PC を使用する事も可能です。
- ・発表時間を厳守でお願い致します。